

県営緊急防災工事計画の決定及び縦覧公告

土地改良法（昭和24年法律第195号）第87条の4第1項の規定により、次のとおり県営緊急防災工事計画を定めたので、その関係書類を令和8年4月8日から同年5月12日まで縦覧に供する。

なお、この決定については、土地改良法第87条の4第4項において準用する同法第87条第6項の規定により、縦覧期間満了の日の翌日から起算して15日以内に知事に審査請求をすることができる。また、この決定を知った日の翌日から起算して6か月以内に、石川県を被告として（訴訟において石川県を代表する者は、石川県知事となる。）、決定の取消しの訴えを提起することができる。ただし、審査請求をした場合は、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、石川県を被告として、決定の取消しの訴えを提起することができる。

令和8年4月7日

石川県知事 山野之義

事業名	地区名	縦覧に供する書類	縦覧場所
老朽ため池整備事業 （防災対策型）	吉倉地区	県営緊急防災工事 計画書の写し	津幡町産業建設部 農林振興課

令和 8 年 度

県営 吉倉地区 土地改良事業計画書

(老朽ため池整備事業)

石 川 県

目

第1章	目的	(1)
第2章	地域及び地積	(1)
第1節	地域	(1)
第2節	地積	(1)
第3章	現況	(1)
第1節	気象及び海象	(1)
1.	一般気象	(1)
2.	特殊気象	(2)
3.	海象	(2)
第2節	土地状況	(3)
1.	地形、土壌及び侵食の程度	(3)
2.	土地利用の状況	(4)
第3節	水利状況	(5)
1.	用水状況	(5)
(1)	用水施設	(5)
(2)	用水に関する被害状況	(6)
第4節	地域環境の概況	(7)
第4章	一般計画	(8)
第1節	事業計画の要旨	(8)
1.	要旨	(8)
第2節	老朽ため池改修計画	(9)
1.	洪水吐改修計画	(9)
2.	堤体補強計画	(9)
3.	取水施設改修計画	(9)
第5章	主要工事計画	(10)
第1節	老朽ため池改修施設	(10)
1.	貯水池	(10)
2.	堤体補強施設	(10)

次

第6章	付帯工事計画	(10)
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	(10)
第8章	環境との調和への配慮	(11)
第9章	事業費の総額及び内訳	(12)
第10章	効用	(14)
第11章	関連する事業	(14)
第12章	現況・計画図面	(14)
1.	位置図	
2.	計画平面図	
3.	標準断面図	
4.	主要構造図 (取水施設)	
5.	主要構造図 (洪水吐)	

第1章 目的

本ため池は津幡町の中山間地に位置し、津幡町字吉倉地内の水田5.4haをかんがいしている。下流域には昭和45年～46年にかけて団体営ほ場整備事業吉倉地区にて整備された水田地帯や集落が存在している。

築造以来主な改修歴は無く、堤体は余裕高不足であり、上流法面には波浪浸食、底樋周辺にはパイピングによる漏水、洪水吐周辺には陥没が見られる。また、斜樋の緊急放流能力、洪水吐の断面も不足しており、改修が望まれる。このことから、防災減災対策として堤体の早急な改修が必要である。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
老朽ため池整備事業	石川県河北郡津幡町字吉倉 地内

第2節 地積

(令和7年10月現在) (第2表)

事業名	市町村名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
老朽ため池整備事業	津幡町		5.4	—	—	—	—	5.4	
合計			5.4	—	—	—	—	5.4	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	金沢地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計	備考
観測期間	H3年～R2年	4月～8月	9月～3月	又は平均	
平均気温 (°C)		21.0	10.7	15.0	金沢地方気象台統計データ(30年間)より
降水量	平均 (mm)	864.8	1,536.7	2,401.5	
	基準年 (mm)				
降水日数	平均 (日)	55.1	122.1	177.2	
	基準年 (日)				
根雪期間		12月3日～3月15日		103日間	
無霜期間		3月29日～12月3日		250日間	
最多風向		WNW	最大風速 (風向)	28.8 m/s (SW)	最多風向発生時期 月 最大風速発生年月日 平成30年 9月 4日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	金沢地方 気象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
		数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	
最大日雨量 (mm)		187.5	H8.6.25	1/54	181.5	S49.7.10	1/43	172.0	H12.9.10	1/29	158.5	S58.9.28	1/17	149.5	H29.8.8	1/12	全年
最大時間雨量 (mm)		61.5	H29.7.4	1/32	59.0	H28.8.16	1/24	58.5	H30.8.16	1/22	53.0	H11.9.21	1/12	52.5	H24.7.21	1/11	全年
最大4時間雨量 (mm)		134.0	S49.7.10	1/88	119.5	H10.9.22	1/42	115.0	H11.9.21	1/34	109.5	H30.8.16	1/25	89.5	R1.8.20	1/9	全年
最大3日連続降水量 (mm)		269.5	H12. 9.10 ~ 9.12	1/28	268.5	H23. 9.20 ~ 9.22	1/28	266.0	S49. 9. 7 ~ 9. 9	1/26	264.5	H25.11.18 ~ 11.20	1/25	224.0	H29. 7.23 ~ 7.25	1/9	全年
最大連続干天日数 (日)		42.0	S60. 7.21 ~ 8.31	1/122	39.0	H30. 7. 8 ~ 8.15	1/74	37.0	H12. 7.26 ~ 8.31	1/52	28.0	S48. 7. 3 ~ 7.30 H16. 7.17 ~ 8.13	1/11	26.0	S58. 5.18 ~ 6.12 H 2. 7.18 ~ 8.12	1/8	5月1日~8月31日

3. 海象 該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	既往最高	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低	備考
		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
実測値	年~年								

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考	
	傾斜	1/1000	1/1000 ~	1/100 ~	1/20 ~	1/11.5 ~	計	3°	3° ~	8° ~ 15°			15° ~	20°	計	最高		最低
	区分	以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	8°	8° ~ 10°	10° ~ 15°	8° ~ 15°	20°	以上				
老朽ため池整備事業	面積 (ha)			5.4			5.4									33.2	27.2	
	比率 (%)			100			100											
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合計	面積 (ha)			5.4			5.4											
	比率 (%)			100			100											

(第4表-1-2)

項目 土壌 統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備考
	土 壤 断 面								堆 積 式	母 材	事 業 名			
	色	腐 食	礫 層	酸化 沈殿物	土 性			泥 炭 層 黒泥層及び グライ層			老朽ため池 整備事業	計		
					表 土 一 層	下 層 土 二 層	三 層							
竜北	灰色 青灰色	表層 なし	あり	糸根膜 含有	壤質	壤質		作土または 作土直下から グライ層	水積	水成岩 火成岩	5.4		5.4	D37
計											5.4		5.4	

2. 土地利用の状況

(令和7年10月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地							山林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 畑 (ha)	茶 園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
老朽ため池整備事業	津幡町	5.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	
	計	5.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	
	計														
		5.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水施設

(ア) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
老朽ため池整備事業	貯水池	ボヤシキ池	5.4	均一型	堤高 H=5.7m 堤長 L=34.0m 貯水量 3.0千m ³	新設年：不明 更新年：-	<ul style="list-style-type: none"> ・堤体の波浪浸食 ・洪水吐の断面不足 ・パイピングによる漏水 	
	井 堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計			5.4				
	貯水池							
	井 堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合 計			5.4					

(2) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (m ³ /s)	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量	
				平均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)			
	計									
	計									
合	計									

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温 (°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	公共 施設	家屋 その他	計	
老朽ため池整備事業	6.9	-	2.4	9.3	519	5,224	109,150	10,980	172,935	298,808	
合計	6.9	-	2.4	9.3	519	5,224	109,150	10,980	172,935	298,808	

第4節 地域環境の概況

本ため池（ボヤシキ池）は津幡町の中央部にある吉倉地区に位置し、受益地区は下流側に広がる水田である。ため池の集水は周囲の山林より行われており、排水は排水路から吉倉川へ流下し、二級河川津幡川、河北潟を経て日本海へ注ぐ。

水域ネットワークについて、本地区は谷内の奥に位置することから、下流側からの河川～水路～ため池という水域のネットワークは見られない。しかし、周辺を山林に囲まれており、両生類や鳥類などの生息空間となっている。

このような環境のもと、現地調査では魚類は確認されなかったものの、両生類ではニホンアカガエルやトノサマガエル、ウシガエル（特定外来生物）の生息が確認された。甲殻類ではアメリカザリガニ（条件付特定外来生物）やスジエビが多数確認された。水生昆虫では、種数は少ないものの、イトトンボ科のヤゴやアメンボ科、マツモムシといった種が採捕された。また、鳥類はため池周辺で調査を行い、ホトトギス、ヒヨドリ、アオサギ、カワラヒワなど水田や平野部で一般的な鳥類のほか、希少猛禽類であるサシバ（環境省絶滅危惧Ⅱ類、石川県準絶滅危惧）が確認された。その他重要種としてサンショウクイ（環境省絶滅危惧Ⅱ類）の生息も確認された。植物は堤体周辺で調査を行い、イタドリ、ドクダミ、ノチドメ、ヨモギなど35種が確認された。そのうち環境省の生態系被害防止外来種リストに掲載されているものとして、ヒメジョオンとセイタカアワダチソウの2種が挙げられる。

以上のように、ため池内には特定外来生物が侵入し、多様性が低い状態ではあるものの、本地区周辺では在来種が生息しやすい環境が保たれていると考えられる。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の趣旨

1. 要 旨

- ・取水施設は老朽化しており、緊急放流能力も不足しているため、堤体工と併せて緊急放流の機能を有した取水施設に改修する。
- ・洪水吐は断面不足であり、計画後の堤体に合致する構造へと全面改修を行う。
- ・堤体は余裕高不足であるとともに、上流側法面に波浪浸食が見られる。また、底樋周辺にはパイピングによる漏水が確認されており、下流側法面の洪水吐周辺で陥没が発生しているため、ベントナイトシート工法により漏水防止を図るとともに、上流側法面はブロックマット、下流側法面は植生シートにて法面保護を行う。

第2節 ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

72.7 mm/hr

1/200年計画基準雨量

金沢地方気象台

(2) 計画洪水量

計算式

$$\begin{aligned} Q &= (1/3.6) \times re \times A \times 1.2 \times \text{地域補正} \\ &= (1/3.6) \times 71.54 \times 0.0499 \times 1.2 \times 1.15 \\ &= 1.369 \quad \text{m}^3/\text{s} \end{aligned}$$

re : 平均有効降雨強度

71.54 mm/hr

f : 流出率

0.708

A : 流域面積

0.0499 km²

$$Q = 1.369 \text{ m}^3/\text{s}$$

貯留効果を考慮しない。

2. 堤体補強計画

工法決定理由

ベントナイトシート工法を採用し漏水防止を図る。

補強計画

上流側法面はブロックマット、下流法面は植生シートにより改修

3. 取水施設改修計画

斜樋工

取水孔φ125, 斜樋管φ200, RC全巻にて全面改修。

底樋工

旧底樋を開削し、底樋管φ800にて全面改修。(土砂吐柵、土砂吐ゲートは斜樋の改修と併せて設置する)

第5章 主要工事計画

第1節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称	ボヤシキ池				位置	石川県河北郡津幡町字吉倉 地内		
堤体	形式	流域 (ha)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
	傾斜遮水ゾーン型	4.99	6.8	37.0	3.4	3.4	3.0	改修
洪水吐	形式	排水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	備考
	側水路型	1.369	2.6	改修		斜樋鋼管	0.0194	改修

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

- ・ 上流 ブロックマットにより法面保護を行う。
- ・ 下流 植生シートにより法面保護を行う。

(2) その他(漏水防止)

- ・ 上流側法面を段切りし、ベントナイトシート工法により漏水防止を図る。

第6章 付帯工事計画

- ・ 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着工予定 令和 8 年 4 月

完了予定 令和 13 年 3 月

第8章 環境と調和への配慮

ため池改修時に落水することから、工事实施に当たっては、工事期間中でも止水域を確保するため、土のう等で仮締切り等を行い、完全に水がなくならないよう配慮する。ウシガエルやアメリカザリガニなどの特定外来生物が確認される場合は、水抜きの際に下流へ流出しないようゆっくりトラップをかけながら行う。希少な鳥類の営巣が付近で確認された場合は、騒音対策や工事時期を調整する。また、土砂・濁水の流出対策など施工中の配慮も検討する。

第9章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

種 別	内 容	事業費 (千円)
純 工 事 費		126,300
堤 体 工	堤高 6.8 m 施工延長 37.0 m	54,800
洪 水 吐 工	側水路型 B = 2.6 m	18,800
底 樋 工	プレキャスト管 L = 30.0 m	30,700
斜 樋 工	斜樋鋼管 L = 12.5 m	7,900
仮 設 工		14,100
測 量 試 験 費	一 式	22,500
用 地 買 収 補 償 費	一 式	1,200
計		150,000
工 事 雑 費	2.50%	3,000
地 方 事 務 費	5.00%	7,000
合 計		160,000

(第26-1表)

区 分		事業名	老朽ため池整備事業 (百万円)	備 考
	主 要 工 事		150	R6年度単価
	附 帯 工 事		—	
	計		150	
関連事業 (参考)	都 道 府 県		—	
	団 体 営		—	
	都 道 府 県			

第10章 効 用

(第27表)

名 称	項目	総便益額 (現在価値) (千円)	年総増加農業所得額 (千円)	備 考
作物生産効果		64,502	3,113	(経済効果算定基準年：R7年度) 単位：千円
営農経費節減効果		△2,238	0	評価期間 45年
維持管理費節減効果		△10,526	0	○ 総費用 (現在価値) 171,874
災害防止効果		279,848	5,193	
国産農産物安定供給効果		13,469	0	○ 総費用総便益比
合 計		345,055	8,306	345,055 ÷ 171,874 = 2.00 ≥ 1.0
区 分	費用項目	総費用 (現在価値) (千円)		
当 該 事 業 費		129,516		○ 総所得償還率
(事 業 費)		123,850		0 ÷ 1,386 = 0.0% ≤ 20%
(事 務 費)		5,666		
関 連 事 業 費		0		
当 初 資 産 価 額		0		
再 整 備 費		66,138		
△ 残 存 資 産 価 額		△23,780		
合 計		171,874		

第11章 関連する事業 該当なし

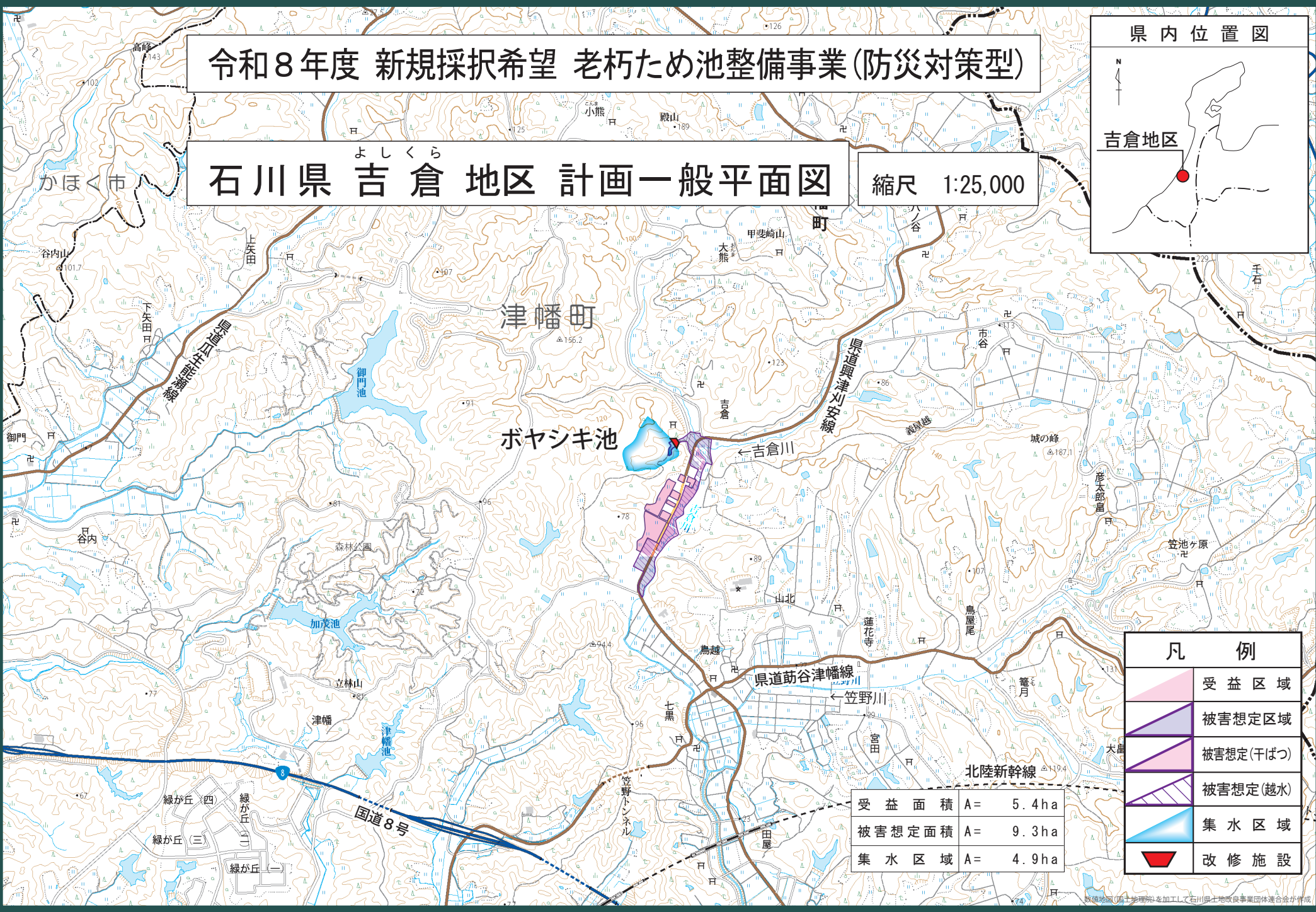
第12章 現況・計画図面

1. 位置図
2. 計画平面図
3. 標準断面図
4. 主要構造図 (取水施設)
5. 主要構造図 (洪水吐)

令和8年度 新規採択希望 老朽ため池整備事業(防災対策型)

石川県吉倉地区 計画一般平面図

縮尺 1:25,000



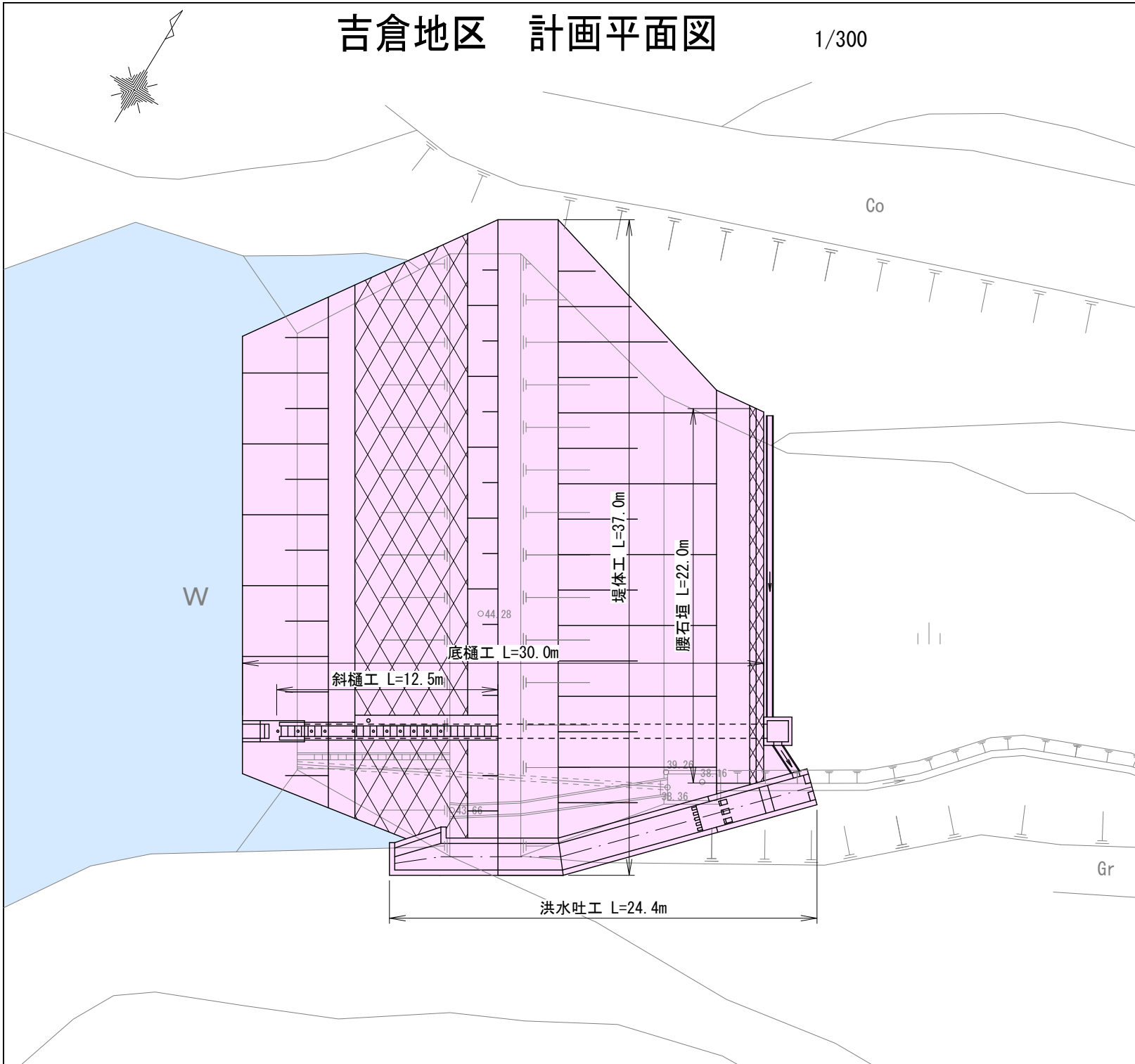
凡 例	
	受益区域
	被害想定区域
	被害想定(干ばつ)
	被害想定(越水)
	集水区域
	改修施設

受益面積	A= 5.4ha
被害想定面積	A= 9.3ha
集水区域	A= 4.9ha

数値地図(国土院)を加工して石川県土地改良事業団体連合会が作成

吉倉地区 計画平面図

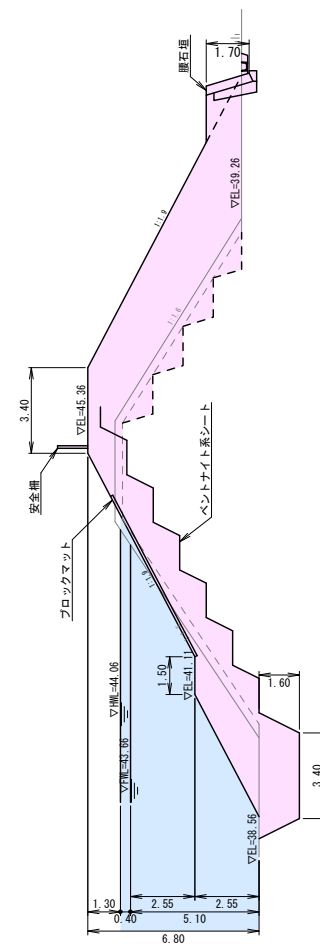
1/300



県内位置図



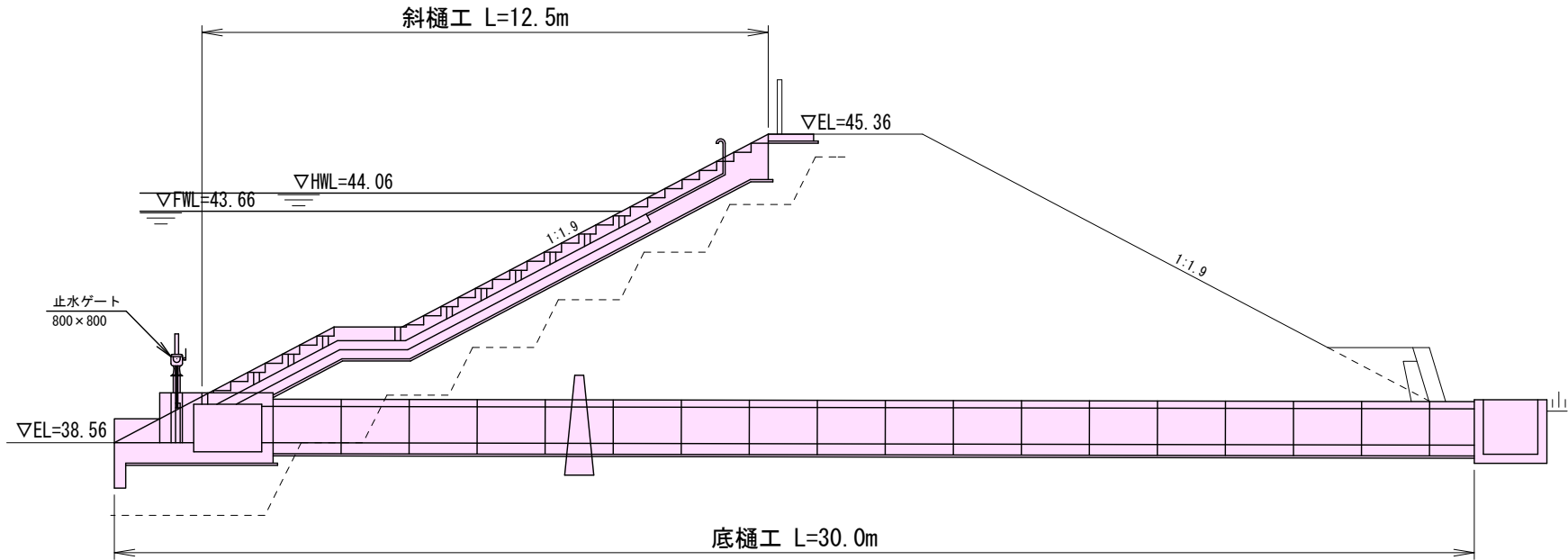
標準断面図



取水施設構造図

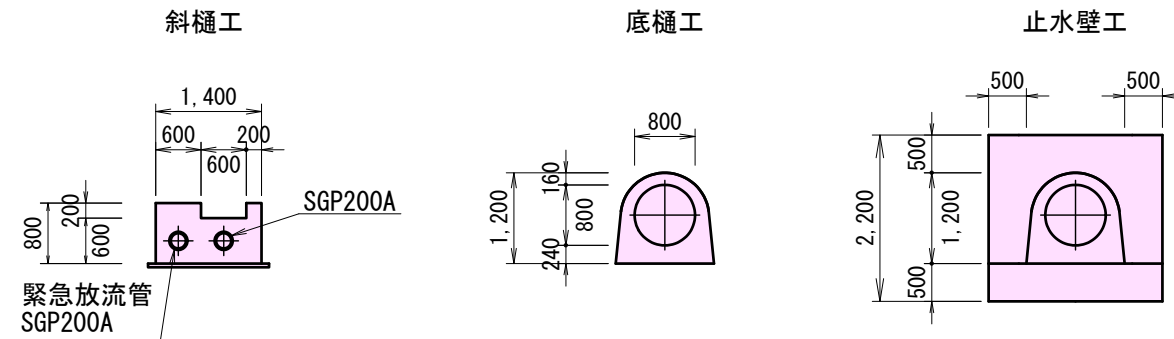
側面図

S=1:150



横断面図

S=1:100

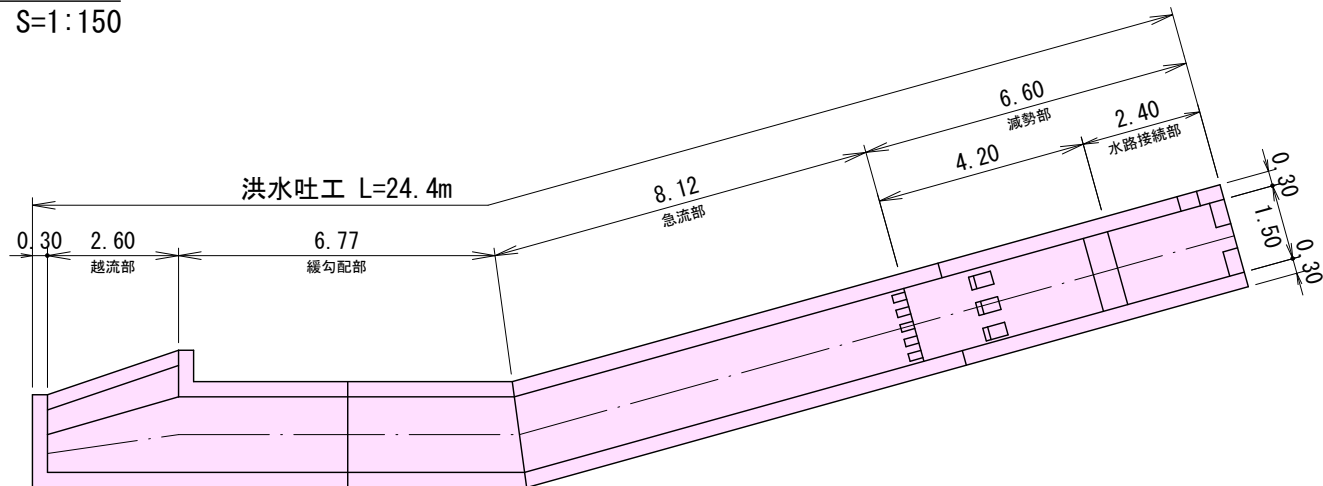


吉倉地区

洪水吐構造図

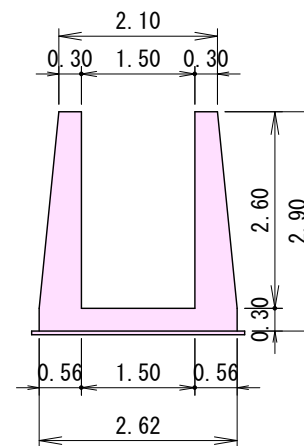
平面図

S=1:150



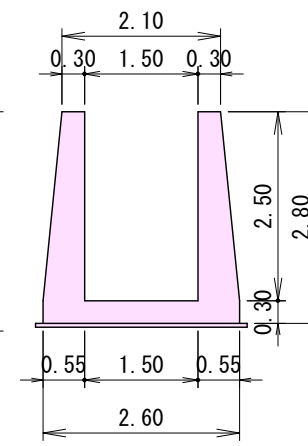
緩勾配部

S=1:100



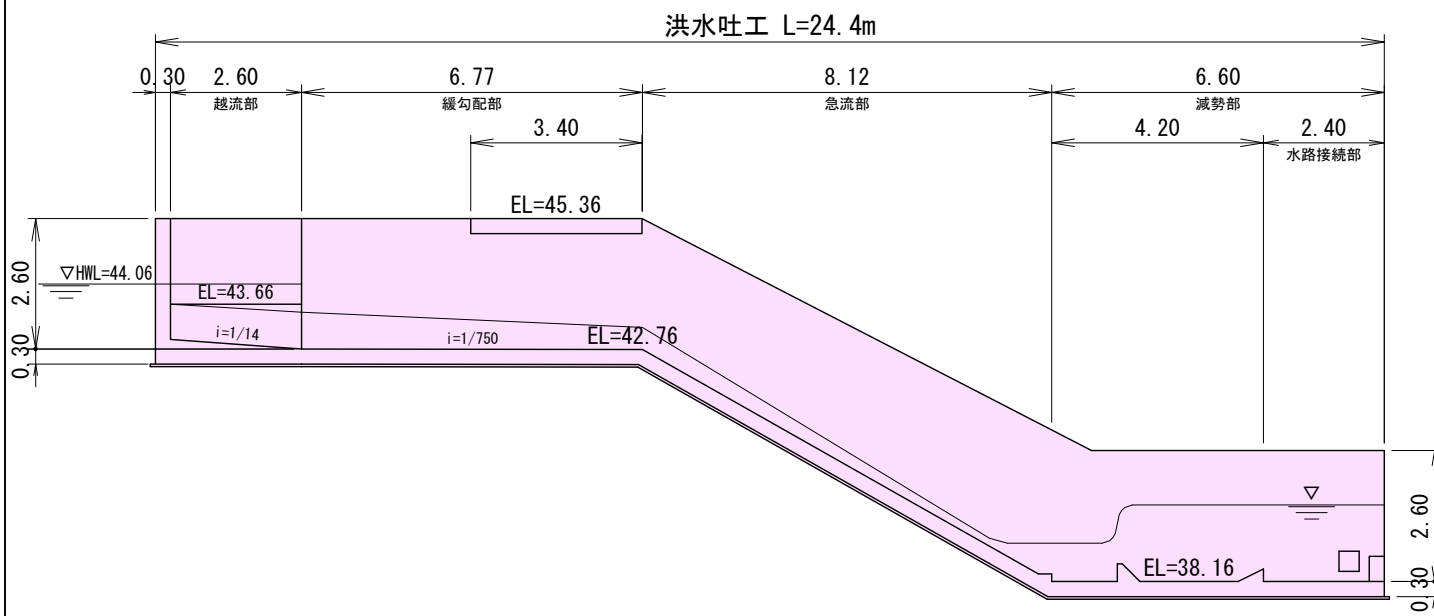
急流部

S=1:100



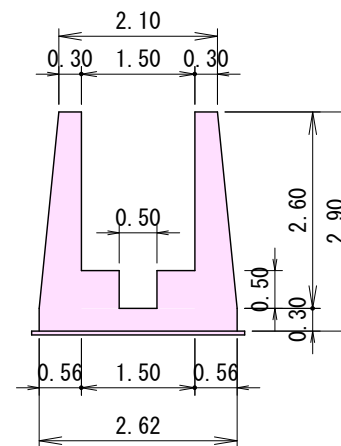
断面図

S=1:150



水路接続部

S=1:100



吉倉地区